

住んでよかった、住み続けたいまちをめざして あなたも播磨ゆめづくり塾で活動しませんか？

平成15年度
6つの塾で
塾生を募集

まちづくりの研究活動を行う「播磨ゆめづくり塾」。このほど、6人の塾長と塾名が決まり、一緒に楽しみながら活動してくれる仲間を募集しています。
▶申し込み・問い合わせ 播磨ゆめづくり塾事務局（企画調整課 ☎0794（35）0356）に希望の塾名、あなたの住所、氏名、電話番号をお知らせください。
*平成14年度の塾活動報告書が役場情報コーナー・公民館・各コミセン・図書館にありますので、参考にご覧ください。



バリアフリー塾

塾長
山根 忠

あなたにとって、播磨町はいつまでも住み続けたい町ですか？
高齢者や心身にハンディキャップを持った社会的弱者と元気な人とがお互いに助けあえる、住みやすい町にしたい。道路や公共の建物のバリアフリーが進んで、どんな人でも自由に交流できる町にしたい。一人ひとりが、身近で取り組みやすいことから始めて、いつも前進している町にしたい。私たちはその「かけはし」になりたいのです。
みんなで考え、一つずつ実現していく、そんな仲間づくりをしませんか。

募集人員・条件など

老若男女を問わず、出来ることを、出来る範囲で実現していこうと思っているあなたのご参加をお待ちしています。



キャストはりま塾

塾長
福原 隆泰

住民参画型まちづくりを軸にした「ゆめづくり塾」として、2年目の活動にステージを進めます。
初年度は、「住民参画のまちづくり」について、先進事例調査や町の施策を学んだり、花で彩るまちづくりの手法を学ぶために専門の先生を招いてセミナーを開催したり、実際に宿根草を庁舎周辺に植栽したりしました。（詳しいことは町で編集した報告書をご覧ください）
今年は、より具体的な活動を企画し、活動の情報を広く住民の皆さんにしっかり発信して、関心を持ってもらえるように心がけたいと考えています。

募集人員・条件など

「できるときに、できる人が、できることをやる」をモットーにしています。一緒にやってみようという方を歓迎いたします。
※フルタイムでも、パートタイムでも参加の仕方は自由です。



食文化「スローフード」元帰塾

塾長
長尾 禎則

「スローフード」。最近、新聞や雑誌でよくお目にかかる言葉です。
①消えつつある郷土料理や質の高い食品を守ること。
②質の高い素材を提供してくれる生産者を守ること。
③子どもたちを含めた消費者全体に味の教育を進めること。
以上の3つの柱が「スローフード」運動の原点です。
添加物食品のハンランする現代にあって、できるだけ自然に近い食材をもとに、昔と変わらぬ製法を体験して古代食を見直す、調理体験型「スローフード」元帰塾です。
伝統的な和食の再発見など「食育」運動に参加しませんか。
ふるさとの郷土料理を教えてください。

募集人員、条件など

◎募集人員：30人（経過を見て第2次募集）
◎年齢：40歳以上、男女不問（経過を見て変更あり）
なお、「あいであ塾」は、「あいであ考房」として存続いたします。



ふれあいってなあに塾

塾長
下垣 俊子

「ふれあいってなあに」が、少し見えてきた感じがしています。多くの方々と出会い、そして仲間になって、楽しくあたたかい関係を築くこと、それがまちづくりの土台だと思います。
「ふれあい」と「ふれあいづくり」をみんなで楽しく実践してみませんか？
幼児のいる若いお母さん方や、高校生とのふれあいも出来たらと願っています。

募集人員、条件など

どなたでも結構です。難しい話は何もありません。ふれあいによって、明るいまちづくりをすることを考えてみましょう。
気軽にご参加ください。お待ちしております。



ベストパートナー塾

塾長
前田 一男

女、男と区別することなく、ひとりの人間として、町民として楽しく、明るく生きていく！ だれもが、住みやすい社会の実現を目指して播磨町男女共同参画行動計画策定委員の有志のメンバーを中心に、継続的な勉強会として塾を立ち上げ、2年目がスタートしました。
「手に手をとって考えよう。男女がともに息づくまち播磨町」を合言葉に、男女共同参画社会について楽しく勉強し、そして熱く、語り合っています。
皆さん、ジェンダー・セクハラ・DV（ドメスティック・バイオレンス）など、一度はこれらの言葉を聞かれたことがあるのではないのでしょうか？
周りには、固定観念をぬぐい去ることができずに悩んでいる方が、たくさんおられます。町民一人ひとりが意識を持った行動をすることで、少しでも悩みの解消になるのではないのでしょうか？
皆さん！ ぜひ、ぜひ、のぞいてみてください!!

募集人員、条件など

女男・年齢問いません。どなたでも気軽に参加してください。



わくわく人権塾

塾長
加田平 靖子

新聞などによると、通勤時に女性専用車ができて内心「ホッ」としている男性が多いとか。もちろん、女性もそうでしょう。反面、乗り慣れた場所から遠くなったと不便を感じている人もいます。
このように、物事には良い面ばかり、悪い面ばかりということはなく、たいがいは自分にとって都合の良いように考えがちなものです。
そこでわくわく人権塾では、新聞記事や身近な事柄を話題に侃々諤々の議論をし、人権感覚を豊かにしていきたいと考えています。
公開講座や視察研修、他の塾やグループとの交流など、楽しく学べる内容を共に考えていきましょう。
月1～2回の集まりです。その時々自分の思いを正直に語り合える仲間を、お待ちしております。

募集人員、条件など

男性女性、若いも若きも問いません。仲間は多い方がうれしいです。是非ご参加ください。

平成14年度

塾活動の報告

あいであ未来塾

塾長 楠瀬 達雄さん
「あいであ」を生かしたまちづくり活動として、
・「ひよったこ節」に振り付けし、夏まつりに「ひよったこ踊り」を披露
・町の名物として大遺跡にちなんだ「大中焼」せんべいを試作
・未来を背負う青少年女とともに「あいであ」を活用したまちづくり
などに取り組みました。

キャストはりま塾

塾長 福原 隆泰さん
住民の参画と住民と行政との協働によるまちづくりの実践活動として、
・人にやさしい道づくり
・環境美化、花で彩るまちづくり
・ため池について、管理、活用、環境面から考える
などに取り組みました。

ふれあいってなあに塾

塾長 下垣 俊子さん
ふれあいによるまちづくりをテーマに、
・高校生など若者との交流
・おやつ作りを通じた若い母親支援
・町行事への積極的な参加、支援
など、普段交流の機会が少ない人との交流の機会、交流の場づくりに取り組みました。

ベストパートナー塾

塾長 前田 一男さん
男女共同参画社会の実現を目指すし、
・生活の中で無意識のうちに作られる男女格差や社会の習慣、慣習の中で作られる役割分担
・性にとられない子育て、教育
・男性の立場から考える男女共同参画
・家庭で使える「イエローカード」作成
などに取り組みました。

わくわく人権塾

塾長 大路 みどりさん
人権にかかわる情報収集と、その活動で得た情報の発信をテーマに、
・人権メッセージによる啓発活動
・有森広子さんを招いた公開講座（マランランナー有森裕子さんのお母さん）
・他の人権グループとのネットワークづくり
など、人権が尊重されるすてきなまちづくりに取り組みました。